

東京農業は、島しょ地域や中山間地域、都市地域など、自然的・社会的条件が異なる環境の下で営まれており、経営規模や経営形態もさまざまです。

このため、農業振興にあたっては、こうした地域特性や経営規模などの違いを前提として、それぞれの特色を発揮して、安定的かつ魅力ある経営展開を図ることが望まれています。

そこで、今後、各自治体で作成する農業振興計画や農業者による経営改善目標を設定する際に指標として活用できるよう、都内各地域で実際に営農が行われている経営事例を基に、目標とする農業所得別の経営モデルを例示しました。

## 1 経営モデルの設定

経営基盤や地域の社会的条件、担い手の年齢などに応じ、農業所得別の経営モデルを設定しました。

- ① 所得目標 1,000 万円：東京農業をリードする専門的な経営モデル
- ② 所得目標 600 万円：地域の農業を担う経営モデル
- ③ 所得目標 300 万円：農業の広がりを支える経営モデル

また、雇用労働力を導入した大規模な農業経営体や法人などの企業的経営体については、次のモデルを設定しました。

- ④販売目標 5,000 万円以上：法人など企業的な経営モデル

※ 1) 経営形態については、家族経営を基本にしています。

※ 2) 労働時間については、農業者の健康や余暇の時間を確保する観点から、農作業の省力化対策を積極的に進めることにより、主たる従事者 1 人当たりの年間労働時間の目標を、おおむね 1,800 時間としています。

## 2

## 経営モデルの例示

## (1) 東京の農業をリードする経営モデル（所得目標 1,000 万円）

雇用労働力を計画的に取り入れ、東京農業の牽引役として、地域の中核となる農業経営を目指すモデルです。

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地 (a) (施設面積 (a)) 作付面積 (a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
1	野菜	I	施設野菜と露地野菜を組み合わせた直売経営	120 (施設 40) 180	3 + 雇用 1	トマト、キュウリ、スイートコーン、ブロッコリー、ニンジン、キャベツ等	園芸用ハウス、暖房機、予冷库
2	野菜	II	露地野菜と施設野菜の市場出荷や契約出荷を主とした経営	180 (施設 20) 360	3 + 雇用 1	ダイコン、キャベツ、ホウレンソウ、コマツナ、トマト、ブロッコリー等	園芸用ハウス、予冷库、シーダーマルチャー、移植機、野菜洗浄機
3	野菜	II	市場や学校給食への出荷を主としたコマツナ専作経営	50 (施設 40) 300	3 + 雇用 1	コマツナ	園芸用ハウス、予冷库、野菜洗浄機
4	野菜	II	施設野菜を主とした市場出荷や契約出荷を組み合わせた経営	150 (施設 30) 375	3 + 雇用 1	ホウレンソウ、コマツナ、ミズナ、ニンジン等	園芸用ハウス、予冷库、野菜洗浄機
5	花き	I II	直売と市場出荷を組み合わせた鉢物経営	45 (施設 45) 90	3 + 雇用 2	シクラメン、ポインセチア等の鉢物類	園芸用ハウス、暖房機、砕土機、ポッティングマシン
6	花き	II	花壇苗、鉢物類の市場出荷や契約出荷を主とした経営	70 (施設 30) 120	3 + 雇用 2	花壇苗、鉢物類、野菜苗	園芸用ハウス、暖房機、自動かん水装置、播種機、ホイローローダー、鉢用土混合機、用土置場
7	花き	II	ヒサカキの市場出荷経営	250 (施設 0) 250	3 + 雇用 1	ヒサカキ	スピードスプレーヤー、バックホー、運搬車
8	果樹	I	ナシやブドウの根域制限栽培システムを導入した果樹経営	80 (施設 20) 80	2 + 雇用 3	ブドウ、ナシ	園芸用ハウス、スピードスプレーヤー、防葉シャッター、果樹棚、根域制限栽培システム
9	植木	II	都市緑化に向けた緑化木生産を行う経営	240 (施設 2) 240	3	落葉高木類、低木類全般、中木類全般	育苗ハウス、クレーン付トラック、バックホー
10	植木	II	グランドカバー植物や低木類のコンテナ植木等の生産を行う経営	300 (施設 100) 300	4 + 雇用 3	グランドカバー植物、低木類全般	鉄骨ハウス、自動かん水装置、ホイローローダー、フォークリフト
11	畜産	II	自給飼料を活用した高能力牛群の飼養と堆肥の生産・販売を行う経営	400 40頭 (経産牛)	2 + 雇用 0.5	生乳、堆肥	牛舎、自動給餌機、ミルクカー、バルククーラー、ふん尿処理施設、ホイローローダー、粗飼料栽培機械一式

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地(a) (施設面積(a)) 作付面積(a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
12	畜産	Ⅱ	採卵鶏と東京しゃも生産を組み合わせた経営	30 3,000羽 (採卵鶏) 1,000羽 (東京しゃも)	2 + 雇用1	鶏卵、東京しゃも、 発酵鶏糞	鶏舎、育すう舎、ふん処理施設、ホイルローダー、直売施設
13	畜産	Ⅲ	酪農と自家製乳製品の直売を組み合わせた経営	50 20頭 (経産牛)	2 + 雇用0.5	生乳、乳製品、堆肥	牛舎、ミルクカー、バルククーラー、自動給餌機、ふん尿処理施設、ホイルローダー、乳加工販売施設
14	複合	Ⅰ	パッションフルーツを主とした施設園芸経営	40 (施設30) 40	2 + 雇用1	パッションフルーツ、マンゴー、レモン、トマト等	園芸用ハウス、果樹棚

《経営モデルのタイプ》

- Ⅰ 直売等を中心とした地産地消に取り組む農業経営      Ⅱ 市場出荷や量販店などへの契約出荷を中心とする農業経営  
Ⅲ 生産に加え加工・販売に取り組む農業経営              Ⅳ 豊かな都民生活に貢献する農業経営

## (2) 地域の農業を担う経営モデル（所得目標 600 万円）

家族労働力に加え、必要に応じた雇用労働力を導入し、農地や農業用施設などを有効に活用して販路の改善などを図り、農業経営を強化していくモデルです。

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地 (a) (施設面積 (a)) 作付面積 (a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
1	野菜	I	施設野菜の直売や契約出荷を主とした経営	50 (施設 40) 250	3	トマト、キュウリ、ホウレンソウ、コマツナ、江戸東京野菜等	園芸用ハウス、暖房機、予冷庫
2	野菜	I	共同直売所や庭先直売、量販店、学校給食など多様な出荷による野菜経営	60 (施設 20) 120	3	トマト、キュウリ、インゲン、葉茎菜類、スイートコーン、ダイコン他	園芸用ハウス、暖房機、予冷庫、直売施設
3	野菜	I II	トマト養液栽培を主とした契約・直売経営	50 (施設 30) 60	3 + 雇用 1	トマト、キュウリ	園芸用ハウス、養液栽培施設、暖房機、ヒートポンプ
4	野菜	II	コマツナやホウレンソウなど葉物野菜を主とした市場出荷経営	50 (施設 40) 250	2	コマツナ、ホウレンソウ、エダマメ	園芸用ハウス、予冷庫、野菜洗浄機
5	野菜	II	市場や学校給食への出荷を主としたコマツナ専作経営	40 (施設 30) 180	2	コマツナ	園芸用ハウス、予冷庫、野菜洗浄機
6	野菜	II	コマツナとエダマメの市場出荷を主とした経営	60 (施設 30) 240	2	コマツナ、エダマメ	園芸用ハウス、予冷庫、野菜洗浄機
7	野菜	II	つまものを主とした市場出荷経営	30 (施設 20) 80	3	つまもの	園芸用ハウス、予冷庫、荷造り調整施設
8	野菜	II	露地野菜の市場出荷を主とした経営	120 (施設 0) 240	3	キャベツ、ブロッコリー、ダイコン、ホウレンソウ、ニンジン等	移植機、予冷庫、洗浄機
9	野菜	II	直売と市場出荷を組み合わせた野菜経営	80 (施設 20) 160	3 + 雇用 0.5	トマト、キュウリ、コマツナ、ホウレンソウ、ダイコン等	園芸用ハウス、暖房機、予冷庫、野菜洗浄機
10	野菜	II	加工用を主としたアシタバの経営	200 (施設 0) 200	2	アシタバ	バックホー
11	野菜	III	ワサビの生産と加工販売を主とした経営	50 (施設 2) 50	2	ワサビ、加工品	育苗ハウス、加工施設、販売施設
12	野菜	III	野菜の直売と農産物の加工販売を組み合わせた経営	80 (施設 20) 120	2 + 雇用 1	トマト、ナス、キュウリ、ダイコン、サトイモ、加工品（菓子、惣菜）	園芸用ハウス、暖房機、予冷庫、加工施設、販売施設
13	野菜	IV	農業体験農園と野菜の直売を主とした経営	65 (施設 10) 90	3	トマト、キュウリ、キャベツ、ホウレンソウ等	園芸用ハウス、体験農園施設
14	花き	I	花き類の直売と市場出荷を組み合わせた経営	50 (施設 30) 120	2 + 雇用 1	鉢物類（シクラメン等）、花壇苗、野菜苗	園芸用ハウス、暖房機、自動かん水装置、培土消毒器、ホイローダー、ポットティングマシン、播種機

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地(a) (施設面積(a)) 作付面積(a)	労働力(人)	主な品目	主な施設・機械
15	花き	I	切花を中心に共同直売所や量販店への出荷を主とした経営	60 (施設 40) 120	4 + 雇用 1	ユリ、ストック、アスター、トルコギキョウ、その他切花	園芸用ハウス、予冷庫、自動液肥混入機
16	花き	II	鉢物類、花壇苗の市場出荷を主とした経営	80 (施設 20) 160	2 + 雇用 0.5	鉢物類、花壇苗	園芸用ハウス、暖房機、自動かん水装置、培土消毒機、ホイルローダー、ポットイングマシン、播種機
17	花き	II	切花の市場出荷経営	60 (施設 60) 60	2	バラ	園芸用ハウス、暖房機、養液供給装置、予冷庫
18	花き	II	ブバルディアの市場出荷を主とした経営	100 (施設 50) 100	2	ブバルディア、フリージア、ハラン等	園芸用ハウス、予冷庫、ホイルローダー
19	花き	II	フェニックス・ロベレニー(切葉)の市場出荷経営(露地と施設の組み合わせ)	140 (施設 40) 140	2	フェニックス・ロベレニー	ネットハウス
20	花き	II	切葉類の市場出荷経営	30 (施設 30) 30	2	レザーファン、ルスカス、キキョウラン等	園芸用ハウス
21	花き	II	ヒサカキの市場出荷経営	100 (施設 0) 100	2	ヒサカキ	運搬車
22	花き	II	観葉鉢物の市場出荷経営	100 (施設 50) 100	2	フェニックス・ロベレニー、シェフレラ類、フィカス類、ヤシ類等	園芸用ハウス、ネットハウス
23	果樹	I	施設ブドウを主とした果樹経営	50 (施設 20) 50	2	ブドウ、ナシ	園芸用ハウス、スピードスプレーヤー、防薬シャッター、果樹棚、根域制限栽培システム
24	果樹	I	ナシ、ブドウを主とした果樹経営	80 (施設 0) 80	2 + 雇用 0.5	ナシ、ブドウ、キウイフルーツ	スピードスプレーヤー、スイングスプリンクラー、果樹棚、防薬シャッター、根圏制御栽培システム
25	果樹	I	キウイフルーツを主とした果樹経営	80 (施設 10) 80	3	キウイフルーツ、ブドウ、カキ	スピードスプレーヤー、果樹棚、防薬シャッター、保冷庫、直売施設、チップパー
26	果樹	IV	果樹の観光摘み取り園を主とした経営	80 (施設 0) 80	2 + 雇用 0.5	ナシ、ブドウ、ブルーベリー	スピードスプレーヤー、かん水設備、果樹棚、防鳥網、直売施設
27	植木	II	グランドカバー植物や低木類のコンテナ植木等の生産を行う経営	220 (施設 20) 220	2 + 雇用 2	グランドカバー植物、低木類全般	園芸用ハウス、自動かん水装置
28	植木	II	緑化木生産を主とした植木経営	300 (施設 6) 300	2.5	落葉高木類、低木類全般、中木類全般	園芸用ハウス、クレーン付トラック
29	畜産	I	地域資源のリサイクルに取り組む養豚経営	30 500頭 (肉豚)	2	肉豚、堆肥	豚舎、ふん尿処理施設、飼料調整施設、ホイルローダー

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地(a) (施設面積(a)) 作付面積(a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
30	畜産	I	採卵鶏の飼養と鶏卵の直売を行う経営	30 5,000羽 (採卵鶏) 1,000羽 (東京うこっけい)	2 + 雇用1	鶏卵、発酵鶏ふん	鶏舎、ふん処理施設、直売施設
31	畜産	II	黒毛和種の繁殖を主とした経営	150 30頭 (繁殖牛)	1 + 雇用0.5	子牛、堆肥	牛舎、ふん尿処理施設、ホイルローダー
32	畜産	II	トウキョウXの一貫経営	30 30頭 (母豚)	2	トウキョウX、堆肥	豚舎、ふん尿処理施設、自動給餌機、ホイルローダー
33	畜産	II	黒毛和種の肥育を主とした経営	100 50頭 (肥育牛、繁殖牛)	2	肉用牛、堆肥	牛舎、ふん尿処理施設、ホイルローダー
34	畜産	II	トウキョウXと一般豚を組み合わせた一貫経営	30 15頭 (トウキョウX母豚) 25頭 (一般豚母豚)	2	トウキョウX、一般肉豚、堆肥	豚舎、ふん尿処理施設、自動給餌機、ホイルローダー
35	畜産	III	採卵鶏と鶏卵加工品の直売を組み合わせた経営	50 3,000羽 (採卵鶏)	2 + 雇用0.5	鶏卵、鶏卵加工品	鶏舎、ふん処理施設、加工施設、直売施設
36	茶	III	小売り販売を主とした生葉・製茶の一貫経営	150 (施設0) 150	2	茶	乗用摘採機、防霜ファン、製茶機器、販売施設
37	複合	I	パッションフルーツを主とした施設園芸経営	30 (施設20) 30	1 + 雇用1	パッションフルーツ、マンゴー、レモン、トマト等	園芸用ハウス、果樹棚
38	複合	I II	野菜、切花、果樹の量販店等契約出荷、学校給食、直売を主とした経営	80 (施設20) 160	3 + 雇用1	トマト、キュウリ、エダマメ、スイートコーン、切花類、ブルーベリー	園芸用ハウス、予冷庫、暖房機
39	複合	IV	観光農園と直売を組み合わせた複合経営	80 (施設0) 80	2 + 雇用0.5	ブルーベリー、キウイフルーツ、野菜類等	防鳥網、加工施設、直売施設、食体験施設

《経営モデルのタイプ》

- I 直売等を中心とした地産地消に取り組む農業経営      II 市場出荷や量販店などへの契約出荷を中心とする農業経営  
 III 生産に加え加工・販売に取り組む農業経営              IV 豊かな都民生活に貢献する農業経営

### (3) 農業の広がりを支える経営モデル (所得目標 300 万円)

家族経営により、所有する農地や農業用施設、農機具などを最大限に活用して、地域の特徴を活かした農業経営を確立させていくモデルです。

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地 (a) (施設面積 (a) 作付面積 (a))	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
1	野菜	I II	共同直売所や庭先直売、量販店、学校給食など多様な出荷による野菜経営	60 (施設 5) 100	2	トマト、キュウリ、コマツナ、カブ、ブロッコリー、キャベツ、江戸東京野菜等	園芸用ハウス、予冷庫
2	野菜	I IV	多品目野菜の直売と観光農園を組み合わせた経営	50 (施設 10) 70	2.5	トマト、キュウリ、コマツナ、ホウレンソウ等、ブルーベリー	園芸用ハウス、直売施設
3	野菜	II	果菜類を主とした市場出荷経営	50 (施設 20) 80	2	トマト、キュウリ、野菜苗	園芸用ハウス、予冷庫
4	野菜	II	市場や学校給食への出荷を主としたコマツナ専作経営	25 (施設 20) 120	2	コマツナ	園芸用ハウス、予冷庫
5	野菜	II	ワサビの市場出荷を主とした経営	50 (施設 2) 50	2	ワサビ	育苗ハウス
6	野菜	II	アシタバの市場出荷を主とした経営	80 (施設 0) 80	2	アシタバ	袋詰機
7	野菜	III	野菜の直売と農産物の加工販売を組み合わせた経営	50 (施設 10) 80	2.5	スイートコーン、ダイコン、サトイモ、加工品 (菓子、惣菜)	園芸用ハウス、加工施設、予冷庫
8	野菜	IV	農業体験農園と野菜の直売を主とした経営	50 (施設 0) 60	2	トマト、ナス、ホウレンソウ	園芸用ハウス、体験農園施設
9	花き	II	花壇苗・鉢物類を主とした市場出荷経営	40 (施設 10) 80	2	花壇苗、鉢物類	園芸用ハウス、自動かん水装置、ホイローター、播種機
10	花き	II	切葉類の市場出荷経営	40 (施設 20) 40	1	キキョウラン、ルスカス、レザーファン等	園芸用ハウス
11	花き	II	ヒサカキの市場出荷経営	50 (施設 0) 50	1	ヒサカキ	運搬車
12	果樹	I	ナシ、ブドウを主とした果樹経営	30 (施設 0) 30	2 + 雇用 0.5	ナシ、ブドウ、キウイフルーツ、カキ	スピードスプレーヤー、果樹棚、かん水施設、直売施設、防葉シャッター
13	果樹	III	ウメ、ユズ、カキ等の生産と加工、販売を主とした経営	60 (施設 0) 60	2	ウメ、梅干、柑橘類、カキ	加工施設、直売施設
14	果樹	IV	ブルーベリーの摘み取りと直売を主とした果樹経営	40 (施設 0) 40	2	ブルーベリー	防鳥網、直売施設

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地(a) (施設面積(a)) 作付面積(a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
15	植木	Ⅱ	緑化木生産を主とした植木経営	100 (施設 5) 100	1.5	落葉高木類、低木類 全般、中木類全般	園芸用ハウス、クレーン付トラック
16	作物	Ⅲ	ソバ、コムギ、ダイズ等の生産、加工、販売経営	60 (施設 0) 90	2	ソバ、コムギ、ダイズ	コンバイン、加工施設、食体験施設
17	複合	I	切花と多品目野菜の直売経営	40 (施設 5) 60	2	切花類、野菜類	園芸用ハウス、暖房機、直売施設
18	複合	I	庭先販売を主とした東京うこっけいと野菜の複合経営	50 (施設 5) 100羽 60a	2	東京うこっけい、 トマト、キュウリ、 キャベツ、ブロッコリー、 コマツナ等	鶏舎、堆肥舎、直売施設
19	複合	I II	サヤエンドウや切葉類の市場出荷を主とした複合経営	30 (施設 20) 40	1	サヤエンドウ、切葉類、 枝もの類等	園芸用ハウス
20	複合	IV	パッションフルーツ、レモンとトマトの複合経営	30 (施設 10) 40	2	パッションフルーツ、 レモン、トマト	園芸用ハウス、果樹棚

《経営モデルのタイプ》

- I 直売等を中心とした地産地消に取り組む農業経営      II 市場出荷や量販店などへの契約出荷を中心とする農業経営  
 III 生産に加え加工・販売に取り組む農業経営              IV 豊かな都民生活に貢献する農業経営

## (4) 法人など企業的な経営モデル（販売目標 5,000 万円以上）

雇用を積極的に取り入れた大規模な農業経営体や法人化による雇用労働力の安定確保と、高い収益性を目指すモデルです。

番号	分類	経営モデルのタイプ	営農モデル	経営耕地 (a) (施設面積 (a)) 作付面積 (a)	労働力 (人)	主な品目	主な施設・機械
1	野菜	Ⅱ	コマツナ等、水耕葉物野菜の高度集約経営	40 (施設 40) 480	3 + 雇用 4	コマツナ、サラダ菜、ミニセロリ等	園芸用ハウス、水耕施設、調整・梱包施設、予冷庫
2	野菜	Ⅱ	施設野菜と露地野菜を組み合わせた市場出荷経営	250 (施設 60) 650	6 + 雇用 7	コカブ、ホウレンソウ、ミズナ、サトイモ、ニンジン	園芸用ハウス、予冷庫、野菜洗浄機、かん水用井戸
3	花き	Ⅱ	特産花き、観葉鉢物の法人経営	500 (施設 80) 500	3 + 雇用 5	フェニックス・ロハレニー、観葉鉢物	園芸用ハウス、用土置場
4	植木	Ⅱ	緑化木の生産・流通を行う経営	500 (施設 50) 500	2 + 雇用 1	落葉高木類、低木類全般、中木類全般	育苗ハウス、クレーン付トラック、バックホー
5	畜産	Ⅱ	搾乳ロボットを取り入れた酪農経営	300 100 頭 (経産牛)	3 + 雇用 2	生乳、堆肥	牛舎、搾乳ロボット、バルククーラー、TMR 給餌機、ふん尿処理施設
6	畜産	Ⅲ	乳製品の加工を行う法人経営	-	2 + 雇用 4	乳製品	パステライザー、充填機、アイスクリーマー、冷蔵・冷凍庫、ショーケース
7	加工	Ⅲ	地場農畜産物の加工、販売を行う法人経営	-	3 + 雇用 3	加工品（惣菜、弁当）	ショーケース、ガス自動フライヤー、コールドテーブル、冷蔵庫

### 《経営モデルのタイプ》

- Ⅰ 直売等を中心とした地産地消に取り組む農業経営      Ⅱ 市場出荷や量販店などへの契約出荷を中心とする農業経営  
Ⅲ 生産に加え加工・販売に取り組む農業経営              Ⅳ 豊かな都民生活に貢献する農業経営

